

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年4月22日（火）

2 確認箇所

増設多核種除去設備（図1）

3 確認項目

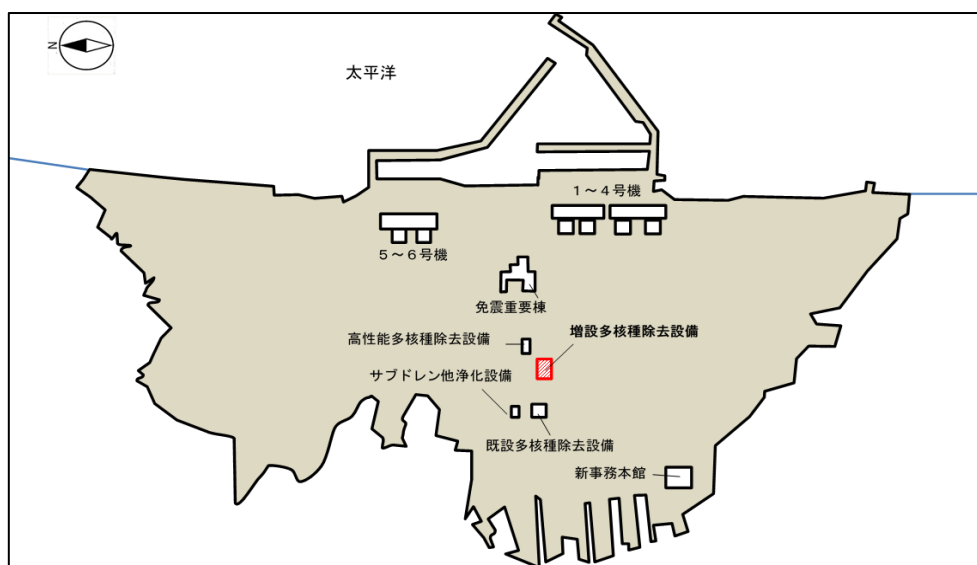
増設多核種除去設備点検作業の状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器の点検状況を適宜、継続確認している。

本日は、増設多核種除去設備（以下「増設ALPS」という。）建屋内で実施されている設備機器の点検作業等の状況を確認した。（前回確認：[令和7年2月27日](#)）

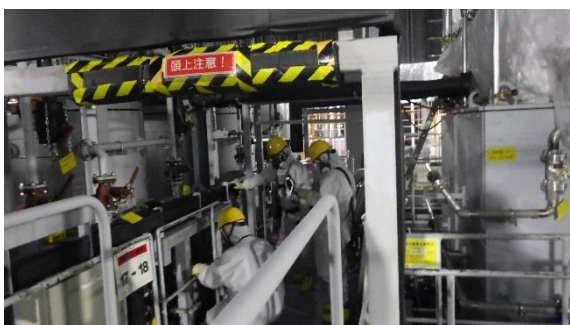
- ・当日の増設ALPSは、A系及びB系が停止中であり、C系が循環待機であった。
- ・現場確認時、吸着剤交換作業後の系統復旧作業を実施していた。
- ・復旧作業に伴うバルブ操作は、汚染防止のためのアノラックを着用した複数の作業員により、手順書に記載された作業内容を復唱しながら行われていた。（写真1）
- ・建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えい、水たまり等の異常は認められなかった。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1－1)
系統復旧作業の実施状況①



(写真 1－2)
系統復旧作業の実施状況②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。